２０２４年　９月　４日

法医学分野で法医解剖を行われた方の御遺族へ

「溺死診断のための葉緑体 DNA をターゲットとした植物性プランクトンの検出法に関する研究」への協力のお願い

法医学分野では、法医解剖が行われた方の試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2021 年 6 月 1 日～2026 年 12 月 31 日の間に当分野において法医解剖が行われた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2027 年 12 月 31 日

研究目的・利用方法 本研究の目的は、当研究分野で開発した「マルチプレックス PCR 法及びフラグメントアナライザーを用いた葉緑体 DNA の検出法」が実際の法医剖検例に応用可能であるかを評価することです。溺死が死因である場合、胸腔に溜まった水に植物性プランクトンが混入することがあります。本法は、混入した植物性プランクトンの DNA を検出する新たな手法です。本研究結果により、本法を使用したプランクトン検査法が法医鑑定において、死因が溺死であるか否か、溺死であればその溺死現場について論ずるにあたり有用であるかが評価され、実務応用への足掛かりとなることが期待されます。

研究に用いる試料・情報の項目：

①以下のデータを剖検記録より取得します。これらはいずれも通常の法医解剖時に得られるデータです。

一般情報：年齢、性別、死因、受傷（発症）後経過時間、死後経過時間、肉眼所見

プランクトン検査：壊機法による顕微鏡検査

②死因が溺死であると判定された剖検例において採取した胸水、血液、肺及び肝臓組織並びに発見現場の水試料につき、下記の検査を行います。なお、剖検例において採取する試料は、解剖時に採取した試料の検査後の残余検体とし、発見現場の水試料は、警察から提供された死体発見現場の水とします。

測定項目：リアルタイムＰＣＲ法及びフラグメント解析による葉緑体ＤＮＡ（psbA）の検出、リアルタイムＰＣＲ法によるヒトＤＮＡの定量（Quantifiler HP, Thermofisher）、サンガーシーケンスによる配列決定

評価項目：剖検例の試料から葉緑体ＤＮＡが検出できるか否か。

剖検例の試料におけるヒトＤＮＡのコンタミネーション量

ヒトＤＮＡによる偽陽性の有無

検出されたフラグメントによる剖検例試料と発見現場の水試料の異同識別
Blast 検索により検出されたフラグメントの由来推定

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：２０２４年１０月１日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに御遺族に行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科　法医学分野　招へい教員　酒井　優治

連絡先

岐阜県岐阜市柳戸１番１
岐阜大学大学院医学系研究科　法医学分野　酒井　優治
Tel：058-230-6418
Tel：058-230-6000（夜間・休日）

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部　研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸１番１
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp